

軽量培養土のpH、EC測定法

[研究のねらい]

花壇苗生産には、ピートモス等の容積重の小さい培養土が用いられています。これらは土壌と同様に測定すると、十分な懸濁液量が得られない、測定値の判断基準が異なる等の問題が生じます。そこで、軽量培養土に適用できるpH、ECの測定法を確立します。

[研究の成果]

- ①培養土（生土：未風乾）と蒸留水を容積比で1：5として、60分振とう後、pH、ECを測定します（図1、1:5生土容積法）。
- ②培養土の容積重が異なっても、ニチニチソウの生育障害発生EC値は、1:5容積比で測定を行うと容積重に影響されずほぼ同様の値を示します（図2）。

[成果の活用面・留意点]

- ①培養土の比重が異なっても、栽培の基準EC値は一定です。
- ②本法の値は畑土壌で蓄積された従来法の値と比較が可能です。

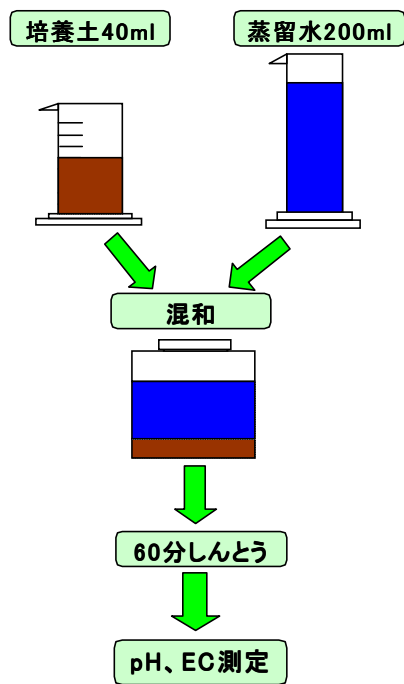


図1 1:5生土容積法によるpH、EC測定法



写真1 軽量培養土による花壇苗生産

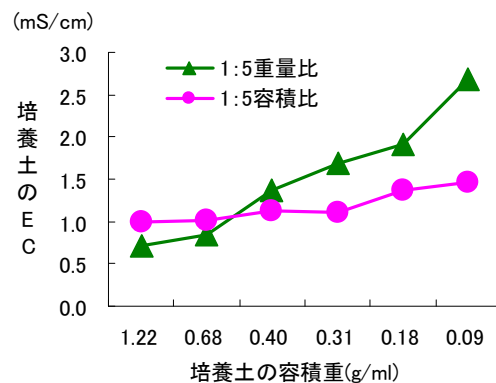


図2 異なる容積重と培養土のEC

実施年度：平成9年

担当者：平田滋、本田孝志